



学 校 だ よ り

7・8月号

都 筑

令 和 4 年 6 月 3 0 日
横 浜 市 立 都 筑 小 学 校
校 長 井 上 由 美 子

学校HP <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/tsuzuki/>

「学ぼう つながろう やりとげる 都筑の子」

「ふれることの大切さと 新しいことをつくり出す大切さ」

須藤 善秀

6月26日、27日の1泊2日、5年生が西湖宿泊体験学習に行ってきました。天候にも恵まれ、予定していたプログラムを全て行うことができました。

宿泊体験学習を通し、改めて本物に触れる体験の大切さを感じた2日間でした。

子どもたちの体験の様子をいくつか紹介します。

牧場で乳しぼり体験をしたときは、初めて牛に直接触れた子どもたちも多く、牛の温かみを感じていました。えさやりの体験では、牧草を牛の口の近くに差しだすと、大きな口で牧草に食いつく姿にちょっとだけ驚きながらも嬉しそうにえさやりをしていました。バター作りでは、自分で瓶を激しく何度振ってもなかなか出来上がらない経験をし、バターを作ることの大変さを感じていました。

富岳風穴の見学では、風穴内の涼しさや自然にできた氷柱の大きさに驚き、奥に進むと、蚕の卵の貯蔵に使われていることを知るなど、国の天然記念物にふれることができました。青木ヶ原樹海ハイキングでは、青々とした木々やたくさんの種類の植物、ごつごつした溶岩などを見て自然の素晴らしさを感じることができました。カヤック体験では、富士山の雪解け水が流れ込む西湖の水のきれいさや冷たさを感じました。

キャンプファイヤーでは、大きな炎を囲み、全員でのレクや学級のスタンプをして大いに楽しみました。終わったとき空を見上げると横浜では見られない無数の星を見ることができました。

2日間の様々な体験は、『命や食べ物大切さ』『自然の雄大さ』『人とふれ合うことや協力すること大切さ』など、多くのことを学ぶ機会となり、成長する糧となったことを、私は子どもたちと一緒に過ごす中で実感しました。

この2年間、コロナ禍において体験的な活動が制約されてきましたが、今回のように少しずつできることを増やしていき、子どもたちに多くの経験ができるよう支援していきたいと思えます。

そして、コロナ禍前と同じようにとはいかないことがあるかもしれませんが、それを残念に思うのではなく、伝統や良さは残しつつ、新たに作り上げていくことで、さらに良い活動ができあがっていくと考えられます。子どもたちにとって実りのある経験が積めるよう努力してまいります。

今後とも教育活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

